

「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン（案）」への
意見募集の結果について

「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン」の策定に当たり、市民、事業者の皆様から、以下のとおり御意見を多数いただくことができました。いただいた主な御意見に対する本市の基本的な考え方をとりまとめましたので、公表します。

貴重な御意見をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

1 募集方法

「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン（案）」の冊子及び概要版をまち美化事務所、区役所・支所、市役所庁舎案内所、京都市廃棄物減量等推進審議会委員の所属団体、「ごみ減量 ECO バスツアー」などのイベント等で配布するとともに、ホームページにも掲載し、郵送、FAX、持参及びホームページの意見募集入力フォームのいずれかの方法で、市民、事業者の皆様から御意見をお寄せいただきました。

2 募集期間

平成22年2月12日（金）から3月12日（金）まで

3 意見数

263件（180名）

4 寄せられた御意見の区分と件数

御意見の区分	件数
「1 計画策定の趣旨」に関する御意見	3件
「2 計画の基本理念」に関する御意見	4件
「3 取組目標」に関する御意見	14件
「4 目標達成のための3つの基本方針と9つの基本施策」に関する御意見	153件
「5 基本施策を推進するための5つの重点戦略」に関する御意見	18件
「6 ごみ処理の基本的な考え方」に関する御意見	5件
「7 施設整備計画」に関する御意見	10件
「8 計画の推進」に関する御意見	21件
その他に関する御意見	35件
合計	263件

<参考> 応募者の属性

○ 年齢

年代	人数
20歳未満	2名
20歳代	11名
30歳代	25名
40歳代	52名
50歳代	18名
60歳代	7名
70歳代	14名
不明	51名
合計	180名

○ 市内在住・在勤

	人数
市内在住	127名
市内在勤	22名
その他	9名
不明	22名
合計	180名

○ 性別

性別	人数
男	78名
女	47名
不明	55名
合計	180名

5 寄せられた御意見と本市の基本的な考え方

「1 計画策定の趣旨」に関する御意見

3件 NO. 1～NO. 3

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
1	<p>前計画のごみ処理目標値をあっという間に達成したということは、前計画の目標の立て方が甘かったということですか。</p> <p>計画を立てるのにも、かなりの労力や費用を費やすわけですし、前計画の目標値を見直すだけでよかったのではないですか。</p> <p>前の計画が6年しか持たなかったということなので、今度の計画は、きちんと10年持つようなものにしてください。</p>	<p>計画（案）本編 p.3 において参考1「前計画のごみ処理目標値の達成状況」を記載しております。</p> <p>前計画の達成状況を見ると、ごみの総排出量及び処理処分量については平成27年度の最終目標を達成しておりますが、再生利用率及び最終処分量については、平成22年度の間目標に至っておりません。</p> <p>京都市は、「環境モデル都市」として、これらの困難な課題に果敢に挑戦し、大きな目標を達成するため、この新しい計画をつくり、皆さんと一緒に取り組んでいこうとするものです。</p> <p>また、計画（案）本編 p.8 において「計画の期間」を記載しております。</p> <p>この中で、本計画の計画期間は平成21年度から平成32年度の12年間としますが、今後の社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて概ね5年後を目途に見直すこととしています。</p>
2	<p>京都市が環境モデル都市とするならば日本の先頭に立ち進めていく影響力、革命的な政策・施策を発信する必要があります。</p>	<p>本計画においては、2020年までに本市のごみの受入量を2000年のピーク時からの半減を目指し、更なるごみ減量、リサイクルを進めることにより、クリーンセンターを1つ（建替え整備に400億円以上の経費）減らします。</p> <p>また、ごみ半減に向けた取組を強力に押し進めるために計画（案）本編 p.33 において「基本施策を推進するための5つの重点戦略」を掲げております。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
3	どうして、2009年からの計画を2010年に策定するのですか。	<p>本計画（案）においては、2008（20年度）を基準年度とし、今年度中の策定を目指していることから年度表記で、2009～2020としています。また、一部の推進項目においては、すでに2009（21年度）から着手しているなど、早期に取り組む必要があることから、2009からとしています。</p> <p>なお、目標年度である2020（32年度）については、策定が検討されています京都市の新基本計画（平成22年度策定予定）と目標年度を合わせております。</p>

「2 計画の基本理念」に関する御意見

4件 NO. 4～NO. 7

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
4	今回の計画については、素晴らしいものであるし、敬意を表するものであるが、それならば大上段に京都市内だけを対象にするのではなく、もっと広く他の市等へも発信し、世界全体を変えるような大きなことを言ってもいいのではないか。「京都から世界を変えよう。」	<p>計画（案）においては、京都のまちが持つ「市民力」や「地域力」を総結集して「京（今日）からみんなで環境にええことしましょ！」を合言葉に「世界をリードする環境モデル都市・京都」の実現を目指すこととしています。</p> <p>ただ、今回の計画は、「一般廃棄物処理基本計画」として位置付けており、これは京都市域内の一般廃棄物について、その発生抑制の手法や処理等について定めるものです。</p>
5	市民力、地域力の違いがよくわからない。	<p>一人ひとりの市民の皆さんの取組が全市に広がり大きな動きとなっていくことを「市民力」と考えており、また、地域単位でそれぞれが持つ特性や強みを活かした取組が進み、全市に広がっていくことを「地域力」と考えております。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
6	事業者の取組を明確にするべきでは。	<p>計画（案）では、事業者の役割として、市民の暮らしを支える事業活動での取組を進める主役としています。なお、事業者の取組としては、基本方針に基づく基本施策、推進項目の中で、事業者の取組が分かりやすく明確になるよう、分けて示しております。</p> <p>また、計画（案）本編 p. 38 おいて重点戦略 2 「事業ごみの減量対策」を盛り込んでおり、この中で徹底した事業ごみの減量に取り組めます。</p>
7	生ごみや落ち葉の堆肥化で「生ごみ	<p>以下のように文言を修正します。</p> <p>【本編 p. 11 修正】</p> <p><修正前></p> <p>「地域からの生ごみ，学校や公園の落ち葉等の堆肥化が行われるなど，ごみの中で一番多い割合を占める生ごみが大幅に減っています。」</p> <p>↓</p> <p><修正後></p> <p>「学校や公園の落ち葉や，家庭からの生ごみが地域単位で堆肥化されるなど，ごみの中で一番多い割合を占める生ごみが減っています。」</p>

「3 取組目標」に関する御意見

14件 NO. 8～NO. 21

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
8	既に（ごみ量のピーク時からの）30%削減に成功しているので、あたかも現在比でごみ量を半減させるかのようなスローガンに違和感を覚える。	<p>計画（案）本編 p.13 において、取組目標を、市民の皆様により分かりやすく身近なものとなるよう心掛け、今から40年前の昭和40年代と同水準であるピーク時からのごみ量の半減という表し方をしています。</p> <p>今後、この取組目標の達成に向けて、今の生活水準を維持し、平成32年度のごみ量を39万トンまで減らしていきます。</p>
9	ピーク時からのごみ半減というキャッチフレーズのため、このすばらしい計画が、中途半端な計画に見えてしまいます。「ピーク時からのごみ半減」のキャッチフレーズはやめるべきです。	<p>計画（案）本編 p.14 において「取組目標」を掲げております。</p> <p>目標の設定にあたっては、本市の人口動態や社会・経済動向を踏まえた予測を行っています。</p> <p>取組目標の達成に向けた様々な取組に当たっては、費用面も考慮して実施します。</p>
10	この基本計画は人口が減少している当市においては達成が難しい数値でない。京都市の計画は現状または右肩上がりの数値を基礎に設定されており人口の減少によって起こるさまざまな要因を加味したならもっと正確に計画年度より達成可能な施策がローコストで実現できる。	<p>計画（案）本編 p.14 において3.1「ごみ減量に向けた取組目標」の中に、家庭ごみ、事業ごみの各々に一人一日当たりの排出量を設定しております。</p> <p>また、計画（案）本編 p.19 に「ごみ減量の実践例」を掲載するなど、市民・事業者の方々にも取組目標を実感していただけるようにしております。</p> <p>なお、計画策定後に行動計画を作成し、これに基づき取組を着実に進めます。</p>
11	京都市全体の大きな目標は書かれているが、それを達成するための、市民や事業者の取り組み目標も具体的に書くべきである。	<p>計画（案）本編 p.14 において3.1「ごみ減量に向けた取組目標」の中に、家庭ごみ、事業ごみの各々に一人一日当たりの排出量を設定しております。</p> <p>また、計画（案）本編 p.19 に「ごみ減量の実践例」を掲載するなど、市民・事業者の方々にも取組目標を実感していただけるようにしております。</p> <p>なお、計画策定後に行動計画を作成し、これに基づき取組を着実に進めます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
12	<p>概要版 p.6 の数値目標について、現在の基準年を強調すべきところを 2000 年のピーク年が入っている関係で、よけいにわかりにくくなっている。</p>	<p>本計画においては、2020 年までに本市のごみの受入量を 2000 年のピーク時からの半減を目指し、更なるごみ減量、リサイクルを進めることを目標としているためこのような記述をしています。</p> <p>また、計画（案）本編 p.18 の表「計画目標数値の一覧」において、基準年度からの削減の率等を記載しております。</p>
13	<p>ごみの減量目標、温室効果ガス削減量の目標設定がなされているが、これが達成されるための道筋がよくわからない。</p>	<p>廃棄物の処理過程で発生する温室効果ガスは、その大部分がプラスチック類の焼却によるものです。</p> <p>ごみの減量、分別を進めることによりプラスチック類の焼却量も減少し、それに伴い温室効果ガスの排出量を削減することができます。</p>
14	<p>ごみ減量が具体的に温室効果ガスの削減とどのようにリンクするのか、科学的知見をあつめて算定根拠を明確にする作業をいそぎすすめてもらいたいと思います。</p>	<p>なお、資料編 p.11 において、施策効果の試算を行っております。</p>
15	<p>ごみ量は減るのにごみ発電による温室効果ガス削減量が増えるのは何故でしょうか？</p>	<p>計画（案）本編 p.17 において「温室効果ガス算定の考え方」を記載しております。</p> <p>温室効果ガス削減量につきましては、ごみ発電等のエネルギー回収の効果から算出しております。</p> <p>ごみ量の減少は発電量の低下要因ですが、高効率な発電やバイオガス発電等の効率の良いエネルギー回収手法等により現在以上の温室効果ガスの削減量の向上を見込んでおります。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
16	<p>概要版 p.6 地球温暖化に悪いものとして、プラスチックなどがあり、自然由来の生ごみなどは、カーボンニュートラルと聞いています。したがって、「ゴミ量」の目標だけでなく、「プラスチックゴミ量」の目標を設定することに意味があるのではないのでしょうか。</p>	<p>計画（案）本編 p.17 において「温室効果ガス算定の考え方」を記載しております。</p> <p>ごみ処理から発生する温室効果ガスの大部分はプラスチック類等の焼却によるものです。</p> <p>本計画（案）では、プラスチック類の焼却のみならずごみ施設でのエネルギー消費等も含めたごみ処理事業全体での温室効果ガスの削減を目指します。</p>
17	<p>モデル都市に選定された年度に策定された計画（案）であることから、CO2削減の目標に対するトレンドが数値化されていると期待したが確たるものはなかった。</p>	<p>計画（案）本編 p.17 において3.3「低炭素社会構築に向けた取組目標」に温室効果ガス排出量の削減目標を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、従来のごみの焼却だけでなく、施設・車両等のエネルギー消費を合わせた廃棄物処理事業全体での温室効果ガス排出量を2020年度で1990年度から25パーセント削減することを目指します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
18	<p>計画（案）概要版 p.7 のごみ減量の実践例は今まで身近な生活で、エコ対策していた事が、どの位ごみ減量と CO2 削減につながっているかだいたいの目安として理解でき、興味深かった。これからも色々な例を出して市民に知らせて下さい。</p>	<p>計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（3）－①「ごみ減量の方法等をわかりやすく掲載した総合環境情報誌の作成・全戸配布」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、計画（案）p. 19 の「コラム 4 ごみ減量の実践例」のような事例紹介や、さらに分かりやすい実践例を掲載するなど、ごみ減量に取り組みやすい情報を提供していきます。</p>
19	<p>ごみ減量の実態例として、量り売りの食品を選んで買うようにと書いてありますが、そんなお店はどこにありますか。スーパーやコンビニにはトレイに入ったものばかり並んでいます。量り売りを推奨するなら、どこにお店があるのか、また増えるように京都市が働きかけてください。</p>	
20	<p>市の「方針」だけでなく、このプランを実現するに当たって、市民が「具体的に何をしたら良いか」をわかりやすく書いておくと良いと思う。</p>	
21	<p>計画（案）概要版 p. 8 の事業所から出るごみの減量の実践例について、家庭ごみ（p. 7）の取組に比べ抽象的な表現になっている。もう少し目標数値など表記する必要があるのでは。</p>	<p>計画（案）本編 p. 19 から p. 20 において、コラム 4 「ごみ減量の実践例」を記載しております。</p> <p>事業所から排出されるごみについては、業種や事業所の規模等により、品目や量、取組方法が大きく異なるため、このような記述をしております。</p>

「4 目標達成のための3つの基本方針と9つの基本施策」に関する御意見

153件 NO. 22~NO. 174

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
22	<p>計画の中で、基本方針・基本施策・重点戦略などが数多くあるため複雑になっており、結局、各主体が何をすべきなのが見えにくい。「市民は～しましょう」「事業者は～しましょう」「行政は～します」と、それぞれが行うべきメニューを充実させたいうえで、内容はできるだけ簡潔なほうがよいのではないか。</p>	<p>本計画（案）では、市民、事業者、行政の各主体が何をすべきなのか、それぞれが行うべき取組が、どういった方針や施策から導き出されたのか、理解を深めていただくため、計画（案）本編 p. 25 に「施策の体系」を記載し、構成を分かりやすく説明しています。</p>
23	<p>大量消費・大量廃棄から3R→2R→1Rへと社会変革させていくために、時間軸を設定して戦略的に進めていくことが必要です。</p>	<p>計画（案）本編 p. 21 「4 目標達成のための3つの基本方針と9つの基本施策」の中で、2Rに重点を置いた3Rの取組の展開とごみの適正処理、エネルギー回収の最大化を基本に、3つの基本方針と9つの基本施策を設定しています。</p> <p>この基本施策を推進するため、計画（案）本編 p. 33 において「5つの重点戦略」を掲げており、この中で戦略的に進めていきます。</p>
24	<p>基本施策で、再掲されている内容があるが、再掲を使うと数が増えてわかりづらくなる。優先すべき内容にいずれか1箇所に掲載すればいいのではないか？</p>	<p>計画（案）では、9つの基本施策を盛り込み、わかりやすくするため施策ごとにとりまとめました。推進項目を実施することによる効果が、複数期待できるものについては、再掲として掲げております。</p>
25	<p>基本方針1「そもそもごみを出さない」しまつの心、素晴らしいと思います。</p> <p>市役所などで出してくださる紙コップを清水焼にするというのはいかがでしょう。ごみも減り京都文化の美しさもアピールでき地場産業の貢献にもつながると思いました。</p>	<p>市役所においても紙コップを使わない等のごみ減量に向けた率先行動を行います。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
26	<p>もったいないという気持ちが市民にはかけている。以前は修理して使用していたが今はすぐに捨てる。</p> <p>行政としてリサイクルセンターの活用、新施設を作る、物を生かして行く事が効果的でありその心が市民生活をゆたかにして行くおばあちゃん知恵である。</p> <p>物のあふれた生活でごみを作るより、ものが無かった時代を思い出し心の「ゆたかさ」を取り戻すことが必要ではないだろうか。</p>	<p>計画(案)本編 p. 26 において基本方針「そもそもごみを出さない～しまつの心を大切にした京都流のエコスタイルな暮らしによるごみ減量の推進～」を盛り込んでおります。</p> <p>この基本方針に基づき、推進項目を確実に進めていきます。</p>
27	<p>ものを作るものとして言いたい。消費者は、海外からの安いものばかり買うのではなく、日本製の長持ちする商品を買って、修理して長く使うような行動をとってもらいたいと思います。</p>	<p>計画(案)本編 p. 26 において推進項目 1－(1)－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐにごみになるものを買わない、財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及・拡大」を盛り込んでおり、その中で取組を進めていきます。</p>
28	<p>最近、100円ショップが賑わっています。安ければ粗末に扱うことも多くなり、不要になり捨てられ、ごみになると思います。こういった風潮が変わらない限り、ごみは減らないと思います。</p>	
29	<p>賢い消費者とは、金銭的に安だけでなく、すぐにごみになるものは買わない、ごみになるものにお金は払わないということだと思います。こういうことを京都市のいろいろな場面でアピールすることが必要だと思います。</p>	
30	<p>リサイクル品に対してのイメージアップを図るようになれば、ごみの減量につながると思う。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
31	<p>買物もエコバックの使用やトレイの使用（パック）にも気を付けてゴミを少なくする様少しでも協力したいと思います。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（1）－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐにごみになるものを買わない，財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及・拡大」を盛り込んでおり，その中で取組を進めていきます。</p>
32	<p>プラスチック製トレイを使わないというアピールは理解できるものの，食品衛生法との関係から，これだけでは改まらないはずである。ごみの減量を進めていくうえでの壁となる国の法律を洗い出して有効な対策を考えていくべきでしょう。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（1）－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐにごみになるものを買わない，財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及・拡大」を盛り込んでおり，その中で取組を進めていきます。</p> <p>また，更なる取組を進めるにあたっては，食品衛生法などの関係法令等との調整が必要な取組もあることから，今後，食品衛生に配慮したうえで，ごみ減量の取組が進んでいくよう国等への働き掛けも含め，検討していきます。</p>
33	<p>大学生への啓発をすべきだと思います。京都は人口の一割が大学生ですが，大人としての一人立ちをする時期に，ごみについての意識づけ，習慣づけをすることは大切なことだと思います。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（1）－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐごみになるものを買わない，財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及拡大」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で，生活のあらゆる場面で，しまつの心を大切にしながらごみを出さない 2R の考えを重視した暮らしへの転換を目指します。</p> <p>また，計画（案）本編 p. 29 において推進項目 2－（3）－①「学園祭や地域のイベント等のエコ化を推進することにより，次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図るイベントグリーン要綱の策定」を盛り込み，取組を進めていきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
34	<p>「NO レジ袋」のためには、条例による義務化も必要ではないのか。自主的な取組みに任せるだけではなくて、少々強制力も必要ではないでしょうか。他都市がレジ袋削減のための進んだ取組みをする中で、京都市でもレジ袋削減協定の次の一手を打つべきだと思います。</p>	<p>計画（案）本編 p.26 において、自主的に任せるのではなく、推進項目 1－（1）－②「「NO！レジ袋宣言」による市民、事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組の全市展開」、推進項目 1－（1）－⑤「レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大、参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、まず、現在のレジ袋削減協定の対象をさらに拡大していくことなどにより、大幅なレジ袋の削減を目指します。</p>
35	<p>イベント等のエコ化について、イベント等のリユース食器の利用（使用）は反対です。洗浄に経費がかかりすぎるように思います。それより、イベント等に参加する際は、必ず、マイ皿、マイはし、マイカップの持参を呼びかけるべきでしょう。</p>	<p>計画（案）本編 p.26 において推進項目 I－（1）－③「京都サンガ F.C. や NPO 等の市民団体、大学、企業などと連携したマイボトル、マイ箸等の持参運動の全市展開」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、マイボトルやマイ箸等の持参を全市に展開します。</p>
36	<p>計画（案）概要版 p.10 推進項目 1－（1）－③「京都サンガ F.C. や NPO 等の市民団体、大学、企業などと連携したマイボトル・マイ箸等の持参運動の全市展開」で、なぜここだけ「京都サンガ FC」の固有名詞を使うのか？好ましくない。</p>	<p>ごみの減量、分別には、学生や若者も一緒に取り組んでいくことが必要であることから、分かりやすくお示しするために固有名詞を使っております。</p> <p>なお、京都サンガ F.C. はこれまでから京都市「DO YOU KYOTO？」大使として、小型家電からのレアメタル回収や使用済みてんぷら油の回収に積極的に協力いただくとともに、今年度からリユースカップの使用の取組をスタートさせるなど様々な活動に取り組んでいただいております。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
37	マイボトルや記念品など京都市が主催する事業で率先して手本を示すべき。その方法を公開して民間のイベントにも広げていけばよい。	計画（案）本編 p. 37 において重点戦略 3 「イベント等のエコ化の推進」を盛り込んでおります。 この中で、イベントグリーン要綱を策定し、まずは、京都市が主催するイベントから適用していくなど、京都市職員に対し、率先した行動を促します。
38	マイボトル、マイ箸について、足元の市職員や市議員がまず実行してから、メリットを実感して市民に協力を求めるべし。	
39	45L 袋の廃止が、なぜごみの減量につながるのかわかりません。30L 袋で 2 個出さざるを得なくなり、その際に詰め込むことで、逆にごみが増えそうな気がします。考え方を示してください。	計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1 - (1) - ④「家庭から出るごみの更なる削減に向けた有料指定袋の最大容量 45 リットル袋の廃止の検討」を盛り込んでおります。
40	家庭ごみ袋の 45L を廃止検討とありますが、家族が多い所やオムツを使っている家庭は大きい袋が必要だと思います。30L だと何枚も使うことになり、出費がかさみます。45L の廃止を検討するのなら、同金額で枚数を増すか、今の枚数であれば金額を下げるなどを検討して下さい。ごみの減量ばかりでなく家庭のことも考えて下さい。	この中で、御意見をいただいた最大容量 45 リットル袋のあり方について、市民の皆様や学識者の意見を踏まえて検討していきます。
41	大きな袋をなくして、より小さいごみ袋にシフトすることに賛成します。	
42	45 リットルの袋をなくせば家庭から出るごみが減るとは思えない。	
43	45 リットル袋を廃止することとごみの減量とどのような関係があるのか。廃止の検討は何を意図しているのか。小さな袋が沢山出されるだけではないか。	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
44	袋はいりますかというお店が以前に比べて増えてきているように思います。レジ袋削減，大いに進めてください。	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（1）－⑤「レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大，参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で，まず，現在のレジ袋削減協定の対象をさらに拡大していくことなどにより，大幅なレジ袋の削減を目指します。</p>
45	レジ袋削減協定ってどうなっているの。他都市ではもっと進んでいるのに京都市は全く進んでいない。	<p>京都市では，他の都市に先駆ける形で，平成 19 年 1 月に，事業者，市民団体とレジ袋協定を締結し，レジ袋削減に向けた取組を進めてまいりました。</p> <p>昨今の情勢としては，他の自治体において県全体での広域的なレジ袋有料化の取組が散見されるなど，他の自治体においてもレジ袋有料化の取組が進展しているところでは。</p> <p>計画（案）本編 p. 26 において，推進項目 1－（1）－②「「NO！レジ袋宣言」による市民，事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組と全市展開」，推進項目 1－（1）－⑤「レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大，参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減」を盛り込み，取組を推進していきます。</p>
46	計画（案）概要版 p. 10 推進項目 1－（1）－⑤「レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大，参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減」で，百貨店も入れるべきでは。	<p>計画（案）本編 p. 26 において，推進項目 1－（1）－②「「NO！レジ袋宣言」による市民，事業者と連携した本格的なレジ袋削減の取組と全市展開」，推進項目 1－（1）－⑤「レジ袋削減協定のコンビニエンスストアやドラッグストアなどへの対象業種の拡大，参加事業者の拡大による大幅なレジ袋の削減」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で検討を進めていきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
47	エコの商品を購入しようと訴えるのではなく、そのような商品を製造販売する会社自体を、変えないと無理だと思います。	計画（案）本編 p.26 において推進項目 1－（1）－⑥「ごみになるものをつくらない・売らないエコビジネスモデルの普及・促進」を盛り込んでおります。
48	石油が不足していく今こそ、石油を使わないほかの持続可能な資源での包装代用品を早急に開発して欲しい。又は、買い物客が、マイ容器を持参して買い物にいける売り方を考えて、少しでもごみを減らしたいと思う。	この中で、量り売りなど環境に配慮したビジネスモデルが普及・促進するように事業者働きかけていきます。
49	ごみを半減させることを実現するためには事業所はもとよりメーカーともコラボして製品を作ったり、提案して環境都市京都をアピールする必要があると考えます。	
50	包装材削減について、量り売りを推進すべきです。容器を持参すれば、お店でそれに入れていただけるように願っています。	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
51	<p>基本施策 1－(2) で事業所ごみの減量をいうのはよいと思うが、なぜ家庭ごみの減量は項目にないのか。基本施策 2 ではリサイクルについては、家庭も事業所も両方について記述しているので、減量で家庭がないのは、少し違和感がある。最近、家庭ごみを減らすために、コンビニやスーパーなどのゴミ箱に捨てているという声を聞いたことがある。ごみの総量を減らすためにより積極的に意識付けをしていく必要がある。</p>	<p>計画(案)本編 p.4 において<参考 2>ごみの内訳に見る今後の課題を記載しております。</p> <p>ごみの総排出量の内訳を見ると、家庭ごみが有料指定袋制の導入などにより大幅に減量しているのに比べ、業者収集ごみの減量があまり進んでいないことが分かります。</p> <p>このため、計画(案)本編 p.27 において基本施策 1－(2)「事業所などから出るごみを減らす」を、さらに、p36 において重点戦略 2「事業ごみの減量対策」を盛り込んでおります。</p> <p>また、更なる家庭ごみの減量に向けた取組として基本施策 1－(1)「すぐにごみになるものを「買わない・作らない」」、基本施策 1－(3)「分かりやすい情報提供と環境学習機会の拡大」などを盛り込んでおります。</p> <p>この中で、市民は、分かりやすいごみ減量の取組などの環境学習を通じ、「すぐごみになるものを家庭に持ち込まない」、「ものを大切に使う」といった 2R の考え方を重視した暮らしへの転換を目指します。</p>
52	<p>計画(案)概要版 p.11 基本施策 1－(2)「事業所などから出るごみを減らす」において、「業種別の減量目標の設定(食品分野、剪定枝、事務所等)」といった推進項目を追加すべき。</p>	<p>計画(案)本編 p.27 において推進項目 1－(3)－④「業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、ごみ減量に向けた具体的な取組方法などをわかりやすく情報提供します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
53	<p>お店としてはお客さんの注文に基づき、料理を出すという立場ではありますが、バイキング形式では、食べ残しは、倍額にするというお店もあると聞きます。</p>	<p>計画（案）本編 p.27 において、推進項目 1－（2）－②「チェーンストア等多量にごみを排出する事業所への減量指導範囲の拡大」、推進項目 1－（3）－④「業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進」を盛り込んでおります。</p>
54	<p>食べ放題のお店で、食べ残しが出た場合、お客から罰金のような別途料金を徴収することを義務づけてはどうでしょうか。</p>	<p>この中で、食べ残しが多いといった多量にごみを排出する事業所に対して減量指導範囲を拡大するとともに、業種別にきめ細かいごみの減量等の情報提供を推進していきます。</p>
55	<p>かざりにしているパセリを捨てずにリサイクルしたらどうですか。</p>	
56	<p>食中毒の心配は自己責任にして、ドギーバッグの利用をもっと推し進めてほしい。</p>	
57	<p>包装材を減らしている商品を京都市が推奨し、宣伝する制度を導入すれば、より少なくて済む包装を意識した商品が普及するのではないのでしょうか。</p>	<p>計画（案）本編 p.26 において推進項目 1－（1）－⑦「業種別の包装材の削減方法や削減率を定めたガイドラインの作成と徹底した指導」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、包装材を減らしていく事業者の取組を促進するガイドラインを作成するなど、徹底した指導を行います。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
58	スーパーの袋は何回も使えるカバンをレジの所で渡したりしたらいいと思います。	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（１）－⑦「業種別の包装材の削減方法や削減率を定めたガイドラインの作成と徹底した指導」を盛り込んでおります。</p>
59	包装の箱をなるべく使用しない製品を推奨することに賛成します。	
60	これからは全ての包装紙，紙の手さげ袋等を無料で渡してはいけないルールを作り小売店に徹底させるくらいのことをやって欲しい。	
61	包装は出来るだけシンプルにすべき。贈答用の時だけ，包装紙とリボン等は，それ用にお金を払って好きな色・柄を選ぶコーナーに持って行き処理する。（デパートやスーパーの時）	
62	業種別の包装材削減の方法や率を作るとありますが，行政だけでは出来ないと考えます。事業者も巻き込んで，みんなで議論する中で，連携して「ともに作っていく」という形が必要ではないでしょうか。	
63	買った商品の中身だけ家に持って帰りたい客のために，小売店舗がごみ箱を設置するなど，製造者，販売者が過剰包装によるコストを負担してほしい。	
64	レジ袋削減の取組の実効性をあげるためには，近い将来，京都の一定規模以上の販売店ではレジ袋がこれまでのように無料で配布されることはないということを行政的に決めることも検討すべきでしょう。	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（１）－⑦「業種別の包装材の削減方法や削減率を定めたガイドラインの作成と徹底した指導」，1－（１）－⑧「生産，流通，販売の各段階における包装材の一定量の削減を義務付ける条例の検討」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で，取組を進めていきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
65	<p>計画（案）概要版 p. 10 推進項目 1－（１）－⑧「生産，流通，販売の各段階における包装材の一定量の削減を義務付ける条例の検討」で，百貨店も削減の義務付けだけでなく回収も義務付ける必要があるのでは。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（１）－⑧「生産，流通，販売の各段階における包装材の一定量の削減を義務付ける条例の検討」の中で，御意見を参考とさせていただきます，条例の内容を検討します。</p>
66	<p>事業者がごみを出さない商品をつくって，市民はごみになるものを買わない，それができたら，ごみはもっと減ります。そのための具体的な取組みがわかりにくいと感じました。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において基本施策 1－（１）「すぐにごみになるものを買わない・つぐらない」の中で市民・事業者の取組として，８つの推進項目を盛り込んでおります。</p> <p>さらに，効果的に取組を進めるため，計画（案）本編 p. 33 に５つの重点戦略を定め，そのうち「包装材削減推進京都モデル」において，販売段階だけでなく，流通，生産段階にまで踏み込んで包装材の削減や環境にやさしい商品の開発を促します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
67	<p>全体としては、よくまとまっているし、そのとおりであると賛同します。そのうえで感じたことを書かせていただきます。概要版10ページ、基本方針1「そもそもごみを出さない」のなかで、「このような暮らしが市民に根付くことによって、事業活動においても」とあります。このように市民の意識が変わることで事業活動の変化を誘導することも必要であるとおもいますが、反対に事業活動が市民生活の変化を誘導することも必要であると思います。その両方が上手くかみあってより効果的にごみを出さないものづくりが進むと思います。基本施策1－(1)の推進項目は市民の側と事業者と両方を並列していますので、そういう視点でお考えいただいているのかもしれませんが、それなら、上の3つの記載のある○の二つ目の部分（上記部分）の表現も事業者の視点も入れた文章をかくべきではないでしょうか。</p>	<p>市民からの行動、事業者の活動の双方からのやり取りを推進することを、計画（案）本編 p. 26 基本方針1「そもそもごみを出さない」の3つ目の○の説明「すぐにごみになるものを「買わない・つくらない」京都流エコスタイルな暮らしに支えられた環境にやさしいまちづくりを進めます。」と記載しています。</p>
68	<p>事業ごみについて、透明袋使用の義務化はわからなくはないが、私のような小さい店で分別するにはお金がかかる。</p>	<p>計画（案）本編 p. 36 において重点戦略2「事業ごみの減量対策」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で掲げる推進項目を融合することで、徹底した事業ごみの減量に取り組んでいきます。</p> <p>また、計画（案）本編 p. 27 において推進項目1－(2)－⑥「有料指定袋制など事業者が排出するごみの量に応じて処理料金を負担し、減量努力が反映される仕組みづくり」を盛り込んでおります。</p>
69	<p>幼稚園や家でお商売をしている人など資源ごみがたくさん出るので、一般家庭とちがうごみ袋（大きさ・値段）にしてはどうかと思います。</p>	<p>この中で、ごみの量に応じて処理料金を負担する仕組みづくりを検討していくこととしています。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
70	事業収集ごみの透明袋製の導入は、ごみ減量のためではなく、リサイクルに回る量を増やすためではないのか？ごみ減量よりもリサイクル量の増加の方が効果が高いのではないのか。	事業収集ごみの透明袋製の導入については、減量とリサイクルの両方に関わることから、基本施策1－(2)「事業所などから出るごみを減らす」及び基本施策2－(1)「徹底した分別によるリサイクルの推進」に盛り込んでいます。
71	事業所ごみの回収で、職場内では分別しているのに、回収業者は一緒くたに入れられているが、どうなのですか？	計画(案)本編 p. 27 において推進項目1－(2)－④「分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」、1－(2)－⑤「クリーンセンターにおける搬入監視の強化と分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施」を盛り込んでおり、この中で、収集運搬業者への指導を徹底します。
72	業者の指導を徹底させる事。法に従って違反罰金強化しているのか？	
73	私の職場ではゴミは一つの袋に入れて業者が夜にパッカー車で集めます。全然分別しても意味がないです。家庭だけきびしく分別するのではなくマンションや一般事業所も分別しては？	
74	計画(案)概要版 p. 11 推進項目1－(2)－④「分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」、⑤「クリーンセンターにおける搬入監視の強化と分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施」で、分別できていない資源ごみの受入拒否は何の根拠でおこなうのか。	平成22年6月に京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する規則第10条を改正し、その規定に基づき実施します。
75	計画(案)概要版 p. 11 推進項目1－(2)－②「チェーンストア等多量にごみを排出する事業所への減量指導範囲の拡大」で、減量指導だけでなく受入規制を行うべき。	計画(案)本編 p. 27 において推進項目1－(2)－⑥「有料指定袋制度など事業者が排出するごみの量に応じて処理料金を負担し、減量努力が反映される仕組みづくり」を盛り込んでおります。 この中で、ごみ減量の取組に経済的な効果が得られるような仕組みを作ります。

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
76	<p>分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底も同じく、ごみ減量のためではなく、リサイクルに回る量を増やすためではないのか？</p>	<p>分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底については、減量とリサイクルの両方に関わることから、基本施策1－(2)「事業所などから出るごみを減らす」及び基本施策2－(1)「徹底した分別によるリサイクルの推進」に盛り込んでいます。</p>
77	<p>ごみ減量の課題は、事業ごみの減量促進であると思いますが、計画上の施策からは、事業ごみが大きく減量するような印象は受けません。事業所の場合は、ごみ処理の費用も事業に係る経費のため、家庭ごみと違い、有料指定袋の導入による経済的インセンティブが働きにくいと思います。</p>	<p>計画(案)本編 p. 36 において重点戦略2「事業ごみの減量対策」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で掲げる推進項目を融合することで、徹底した事業ごみの減量に取り組んでいきます。</p> <p>また、計画(案)本編 p. 27 において推進項目1－(2)－⑥「有料指定袋制など事業者が排出するごみの量に応じて処理料金を負担し、減量努力が反映される仕組みづくり」などを盛り込んでおります。この中で、ごみの量に応じて処理料金を負担する仕組みづくりを検討していくこととしていますが、減量努力が反映されるような仕組みができることでごみ減量が期待できると考えております。</p>
78	<p>事業所などのごみは、まだまだムダが多いと思いますね。</p>	<p>事業所などのごみは、まだまだムダが多いと思いますね。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
79	ごみ減量に積極的に取り組んでいる会社を紹介してあげれば、取り組む会社も増えてくると思います。	計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（2）－⑧「ごみ減量等に取り組む有料事業所の表彰」を盛り込んでおります。
80	製造者の中には、環境に寄与するとともにそれが企業の利益にもつながるため、既に包装材を減らしたり、リサイクルできなかつたプラスチック製の包装をダンボールに変えるなどの努力をしている。製造者を一括りにして何もして来なかつたというのではなく、取り組んでいる会社があるということもしっかりと発信してほしい。	この中で、ごみ減量に積極的に取り組んでいる会社を表彰し、取組内容を公表します。
81	事業ごみの収集運搬の許可免許は、交付要件を満たしている業者に交付するように見直し、新たな業者の参入を促すことで、競争原理が働き、分別やごみの減量がすすむのではないかと。	京都市では、事業ごみの収集運搬について、法的に許可制が導入された当初から当該制度を適用してきました。収集運搬業の許可については、市町村による処理が困難であり、かつ、市町村の定める処理計画に適合していることが条件になっております。
82	計画（案）概要版 p. 11 基本施策 1－（2）「事業所などから出るごみを減らす」において、「収集運搬業者の新規参入を促すことによる排出事業者の減量の取組の多様化。（規制緩和と競争性の発揮）」といった推進項目を追加すべき。	市のごみ施策に整合しながら、質的な向上が図れる体制を検討します。
83	現在、事業系ごみの収集は京都市が許可する 84 業者、200 台のパッカー車に限定され新規の参入が出来なくなっており、事実上の「カルテル」状況になっております。これを原則参入自由にするにより収集業者に競争原理を働かせ、事業系ごみの排出コストの削減を図る時期が来たと感じています。京都市に於かれては、一般廃棄物収集許可制度の撤廃にご理解をお願いします。	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
84	<p>ファストフードやコンビニに慣れてしまっているので、生活レベルを変えずにごみを減らすといってもどうしてよいかよくわかりません。計画には私たちが取り組めることとしていくつかの例が挙げられていますが、総合情報誌でやさしく説明してください。</p>	<p>計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（3）－①「ごみの減量方法等をわかりやすく掲載した総合環境情報誌の作成・全戸配布」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、プラスチックの分別などごみの出し方の基本ルール等について記載します。</p>
85	<p>プラごみが「プラスチック製」だからというだけできちんと分別されていないのをよく目にします。ああゆう出し方をすれば分別に手間がかかり、結局はコスト大になるだけなのだと思います。プラ分別表の簡単なものをプラごみ袋に入れてみてはどうか。例えば、よく出されているもの BEST20 位を絵入りで記載するとか。</p>	
86	<p>家庭ごみの中でプラスチックの対象品目が分かりにくいと感じます。特に、高齢者や子供にもわかるような説明を工夫してほしい。</p>	
87	<p>ごみの分別方法が分かりにくい。マヨネーズのチューブなど、どのくらい洗ってきれいにしなければいけないのか不明。洗浄のために水を使うのは、かえってもったいない気がする。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
88	市民しんぶんなどにごみ処理内容（方法）を掲載してはどうですか？	市民しんぶん等を活用するなどして周知するとともに、計画（案）本編 p. 27 の推進項目 1－（3）－①「ごみの減量方法等をわかりやすく掲載した総合環境情報誌の作成・全戸配布」の中でも掲載します。
89	現在あるごみ百科辞典（？）は項目が多くて、高齢者にはわかりづらいです。例えば、市民しんぶんに「今月の分別」とかのコーナーにこのゴミはどのように捨てましょうなど周知いただくと少しずつ理解できるようになると思います。	
90	ごみを減らす取組については、このプランのことだけでなく、ふだんのごみの出し方についても、多くの人に伝えてほしいと思います。	
91	外国人に対しては、文化の差を埋めるような普及、啓発をしてほしい。同じマンションに住む外国人に何度指摘しても意識されない現実があります。	外国人向けに外国語版の印刷物を作成していますが、状況に応じた啓発・指導を行っています。
92	分別さえすればいいと気楽に毎日を暮して居りますが後の始末の大変さをつくづく感じました。	計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（3）－①「ごみの減量方法等を分かりやすく掲載した総合環境情報誌の作成・全戸配布」を、p. 57 において(5)「情報の見える化」を盛り込んでおります。 この中でリサイクルルートや異物の混入状況などごみに関する情報を公表していきます。
93	地域ごとのごみの排出状況などの地域特性に応じた指導・啓発の推進もリサイクル量の増加とごみ減量どちらを優先するのかで一方のみの記載でいいと思われる。	地域ごとのごみの排出状況などの地域特性に応じた指導・啓発の推進については、減量とリサイクルの両方に関わることから、基本施策 1－（3）「分かりやすい情報提供と環境学習機会の拡大」及び基本施策 2－（2）「地域力を活かした地域密着型の取組の推進」に盛り込んでいます。

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
94	概要版 p.13 ③のごみの排出状況等の地域特性に応じた指導というのほどどれくらいの範囲をさすのか、地域特性に応じた指導というの具体的などのよう実施するのか。	計画（案）本編 p.27 において推進項目 1－（3）－②「地域ごとのごみの排出状況等の地域特性に応じた指導・啓発の推進」を盛り込んでおります。 これを進めていく中で、地域の範囲等を具体化していきます。
95	学生に対する取組として、学園祭やイベントでの啓発で意識の向上を図るだけでは取組としては不十分ではないか。例えば一人暮らしの学生等では、その世代特有のごみの出方があるのではないか。	計画（案）本編 p.27 の推進項目 1－（3）－②「地域ごとのごみの排出状況等の地域特性に応じた指導・啓発の推進」を盛り込んでおります。 この中で取組を進めていきます。
96	核家族化と老人など家庭での単位が少なく、ごみの分別が老人だけに課題でもある。今後は地域での住民間の「きずな」が一層求められる。その一つとして「地域の和（なごみ）の家」を設けて高齢化に備えるなど、ごみ問題を進化させて考えておくことも必要と思う。	計画（案）本編 p.27 において推進項目 1－（3）－②「地域ごとのごみの排出状況等の地域特性に応じた指導・啓発の推進」を盛り込んでおります。 この中で、高齢者への配慮等について、指導・啓発を推進します。
97	小学校等での環境学習の実施は必要だと思えます。	計画（案）本編 p.27 において推進項目 1－（3）－③「子供たちを指導する立場の先生や地域リーダー等への理解の促進による指導者から子どもへ知識を伝える環境学習の展開」を盛り込んでおります。 この中で、将来を担う子どもの環境学習機会の拡大に努めていきます。

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
98	<p>平成32年度のゴミ量の目標値である昭和40年代を思い返すと、皆、買い物籠で買い物していたと記憶しています。</p> <p>先日、TV番組で石川県の(確か)小松市の取り組みが取り上げられていました。</p> <p>「水分が完全に無くなるまで干してから出す」ようお願いしたところ、今ではその出し方が当たり前になり、また、水分が無い分、“かさ”が無くなり、ゴミ量が激減したそうです。</p> <p>この話で注目すべき点は、保育園や幼稚園でもこの取り組みを実践しているので、小さい子供にとっては、『そうすることが普通』という感覚になっている事です。</p> <p>次期計画でも構わないので、保育園や幼稚園まで含めた教育現場への取り組みも重要視されるよう、希望します。</p>	<p>計画(案)本編p.26において推進項目1-(1)-①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐごみになるものを買わない、財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及拡大」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、生活のあらゆる場面で、しまつの心を大切にしながらごみを出さない2Rの考えを重視した暮らしへの転換を目指します。</p> <p>また、p.27において推進項目1-(3)-③「子供たちを指導する立場の先生や地域リーダー等への理解の促進による指導者から子どもへ知識を伝える環境学習の展開」を盛り込んでおります。この中で、将来を担う子どもたちだけでなく、子どもたちを指導する立場の先生や地域のリーダー等の大人への十分な理解の促進を図っていくなど、環境学習機会の拡大に努めていきます。また、これまで以上に「ごみ減量ECOバスツアー」を含む環境教育にも力を入れてまいります。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
99	<p>リユース，リデュース，リサイクルをもっと市民学生に徹底させる工夫がもっと必要。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（1）－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐごみになるものを買わない，財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及拡大」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で，生活のあらゆる場面で，しまつの心を大切にしながらごみを出さない 2R の考えを重視した暮らしへの転換を目指します。</p> <p>また，計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（3）－③「子供たちを指導する立場の先生や地域リーダー等への理解の促進による指導者から子どもへ知識を伝える環境学習の展開」を盛り込んでおり，この中で，将来を担う子どもたちだけでなく，子どもたちを指導する立場の先生や地域のリーダー等の大人への十分な理解の促進を図って，環境学習機会の拡大に努めていきます。</p> <p>さらに計画（案）本編 p. 29 において推進項目 2－（3）－①「学園祭や地域のイベント等のエコ化を推進することにより，次代を担う若者を中心とした更なる環境意識の向上を図るイベントグリーン要綱の策定」を盛り込み，取組を進めていきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
100	施設見学を当局としても市民にPRして更なる「Reduce」「Reuse」「Recycle」の徹底を計って頂きたいと思います。	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（1）－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐごみになるものを買わない，財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及拡大」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で，生活のあらゆる場面で，しまつの心を大切にしながらごみを出さない 2 R の考えを重視した暮らしへの転換を目指します。</p>
101	20代30代の若者にもクリーンセンター見学イベントをして理解を得る事は不足していると思う。また，映画村のタレントにも協力を呼びかけイベントを行ってはどうか。	<p>また，p. 27 において推進項目 1－（3）－③「子供たちを指導する立場の先生や地域リーダー等への理解の促進による指導者から子どもへ知識を伝える環境学習の展開」を盛り込んでおります。この中で，将来を担う子どもたちだけでなく，子どもたちを指導する立場の先生や地域のリーダー等の大人への十分な理解の促進を図っていくなど，環境学習機会の拡大に努めていきます。また，これまで以上に「ごみ減量 ECO バスツアー」を含む環境教育にも力を入れてまいります。</p>
102	施設見学に参加して私達も気を付けて出すようにしなければと思いました。	
103	「ごみ減量 ECO バスツアー」に参加するまで，参加者の多くは，何故京都市が「ごみの出し方」を指定するのか，その理由をほとんど知りませんでした。今回のバスツアーで，おぼろげながらもその理由を知ることができたのは大変よかったと思います。これからも，今回のような施設見学をたくさん企画していただきたいと思います。	
104	ものを大切にする，環境のことを考え行動すること等，小さい頃からの教育は大事なことだと思います。	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
105	<p>基本施策「分かりやすい情報提供と環境学習会の拡大」の中で「子どもたちを指導する立場の先生や地域のリーダー等への理解の促進による指導者から子どもたちへの知識を伝える環境学習の展開」とあるが、文から読み取れる意味がわからない。単純に「環境学習機会の拡大」ではだめなのか？子どもと限定しているが、大人は啓発のみで学習を受けたくても機会はないのか。</p>	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1－（１）－①「ごみ減量推進会議や環境関連団体等の地域における活動と連携した「すぐごみになるものを買わない，財布にも環境にもやさしい消費行動」の普及拡大」，p. 27 において推進項目 1－（３）－③「子供たちを指導する立場の先生や地域リーダー等への理解の促進による指導者から子どもへ知識を伝える環境学習の展開」を盛り込んでおります。</p>
106	<p>子供たちの環境教育が大切。10年20年先を見て仕事をして下さい。</p>	<p>この中で、将来を担う子どもたちに、ごみ減量に関心を持って取り組んでいく必要があること、そのためにはまず、子どもたちを指導する立場の先生や地域のリーダー等の大人への十分な理解の促進を図っていく必要があります、当然のことながら子どもだけでなく、大人に対しても、環境学習機会の拡大に努めていきます。</p>
107	<p>子供達や地域の皆様にこのことを理解していただくためには、指導者（リーダー）の勉強が必要です。分かりやすく啓発するためにはどのような話がいいか、話し方はどうしたらいいか等、また、ごみの分別を正しく知っていただくには、とか、どうしてレジ袋の削減が必要なのか、生ごみの水切りは十分しなければだめなのかなどなど、何度も繰り返し提供しなければなりません。</p>	
108	<p>小学生や若い方にも社会勉強が必要です。</p>	
109	<p>業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進もリサイクルの内容よりも2Rを優先するのだから、2Rのところだけに掲載すればいいのでは？</p>	<p>業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進については、減量とリサイクルの両方に関わることから、基本施策 1－（１）「すぐにごみになるものを「買わない・つぐらない」及び基本施策 2－（１）「徹底した分別によるリサイクルの推進」に盛り込んでいます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
110	<p>事業者が分別して出したごみは、どのようにリサイクルされるのでしょうか。確実に分けて収集されて、こういうリサイクルがされているという情報発信がほしい。</p>	<p>計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（2）－③「業者収集ごみの透明袋制の導入」、1－（2）－④「分別排出義務の明確化と収集運搬事業者へのペナルティを含む指導の徹底」、1－（2）－⑤「クリーンセンターにおける搬入監視の強化と分別できていない資源ごみ及び不適物の受入拒否の実施」、推進項目 1－（3）－④「業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向け情報提供の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、ごみ減量に向けた具体的な取組方法などをわかりやすく情報提供するとともに、ごみの分別ルールを徹底し、排出指導を強化します。</p>
111	<p>京都には産学官の協力（研究）でゼロエミッションのできる土壌が整っています。</p>	<p>計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（3）－⑤「大学、企業と連携した調査・研究と海外研修生の受入れなど技術提携の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、産学官の協力（研究）を推進します。</p>
112	<p>プラスチック製品に代わる製品の開発や生ごみ、竹林などバイオマスエネルギーの活用などの研究費に市がお金を出すことはできないのでしょうか。市民力とか地域力とかも大事だと思うけれど、科学技術の力をもっといかしてほしい。</p>	
113	<p>乙訓地区に住んでいますが、乙訓地区では京都市内より分別を細分化しているようですが、京都市内でも、もう少し細分化してはどうですか？</p>	<p>京都市では現在、5区分8種類の分別収集と4品目の拠点回収を実施しております。</p> <p>計画（案）本編 p. 28 において、推進項目 2－（1）－①「使用済みてんぷら油などの回収拠点拡大やコミュニティ回収の品目拡大など既存の資源回収の更なる充実」、推進項目 2－（1）－②「蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収」を盛り込んでおります。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
114	拠点回収は、いつも行くスーパーには回収場所が設置されていないため、なかなか難しい。	<p>計画（案）本編 p. 28 において、推進項目 2－（１）－①「使用済みてんぷら油などの回収拠点拡大やコミュニティ回収の品目拡大など既存の資源回収の更なる充実」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、より身近な回収拠点の拡大を推進します。</p>
115	天ぷら油は、そもそもどこで回収してもらえるのかすら知りません。近くにあればかなりうれしいです。	
116	学校を拠点に天ぷら油の回収を依頼する。子供達が持ってくるようにすることで、お母さんも助かるし子供にも環境学習にもなるのでとても良いと思うのです。	
117	「リユースびん推奨については今後の社会動向を見極めながら再検討を行う」程度でよい。	
118	ごみ袋すら、お金が掛かるのでできる限り回収してもらおうか、ごみにしたくないです。	
119	家庭から出る有害危険物の回収も身近で出来るよう工夫して頂きたい。	<p>計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（１）－②「蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収」を盛り込んでおり、この中で取組を進めていきます。</p>
120	蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収もリサイクル量の増加が適正処理かどちらが優先かで一方のみの記載でいいと思われる。	<p>蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収については、リサイクルと適正処理の両方に関わることから、基本施策 2－（１）「徹底した分別によるリサイクルの推進」及び基本施策 3－（２）「環境負荷を低減するごみの適正処理」に盛り込んでいます。</p>
121	いまだに分別されていない方や、プラゴミをスーパーの袋に入れて有料袋に入れて捨ててる方が多いように思うので、もう少し徹底したほうが良いと思う。（持って帰らないとか）	<p>計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（１）－③「排出時における不適正ごみへのシール貼付による指導啓発の徹底」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、ごみの分別ルールを徹底し、排出指導を強化します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
122	<p>計画（案）概要版 p.12 推進項目 2－（１）－③「排出時における不適正ごみへのシール貼付による指導啓発の徹底」で、シール貼付されても誰に指導するのか？地域との連携を明記すべき。</p>	<p>計画（案）本編 p.28 において推進項目 2－（１）－③「排出時における不適正ごみへのシール貼付による指導啓発の徹底」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、不適正ごみに、理由を明記したシールを貼り付けし、ごみを取り残すことで、排出者及び地域住民に対して、ごみの分別ルールを周知徹底していきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
123	<p>マンションごみを分別しないのを不思議に思っていたら、先日方針が出され納得できた。</p> <p>ごみの半減に向けてマンションごみの分別に踏み出すのはよいことである。身近なところから手をつけないで半減はできない。</p>	
124	<p>ごみのリサイクルなどが分別してある集合住宅のごみ集積場では、集合住宅が依頼している業者の清掃車内に一緒に入れられている。なぜ回収時点で、品目ごとの回収としないのか。分別する意味があるのか非常に疑問です。</p>	<p>計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2 - (1) - ④「分別できていないマンションに対する分別義務の徹底と未分別ごみの受入拒否」を盛り込むとともに、マンションの管理会社や住民、収集運搬業者への指導を徹底するなど取組を進めているところであり、分別リサイクルを徹底的に進めていきます。</p>
125	<p>民間業者が収集するマンションの住民も、市指定のごみ収集袋に分別するよう、早急に指導願います。</p>	
126	<p>一般の住宅では、ごみの日に分別してごみを出してますが、マンション等は、コンポスト等に有料ごみ袋で出さなくても、分別もしなくても良いので、まぜこぜで捨てられていると聞きますが、それはどうでしょう。皆が、同じ様な処理・分別をしなければ、良い方向に向いて行くとは考えられません。</p>	
127	<p>京都市内のマンションも缶・ペットボトル分別、家庭ごみを透明な袋に入れて出すようにとありましたが、同じ京都市民であれば同じにしてもいいはずなのだと思います。</p>	
128	<p>業者収集のマンションにお住まいの方は、「ごみの分別や減量に関してはかなり意識が低く、関係のないこと。」と考えている方が多いと業者収集のマンションにお住まいの方から聞きました。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
129	<p>計画（案）概要版 p. 12 推進項目 2－（１）－④「分別できていないマンションに対する分別義務の徹底と未分別ごみの受入拒否」で、マンションごみの受入拒否はどのようにするのか？市が直接収集すべきでは。</p>	<p>京都市から収集業者にそのマンションのごみを収集しないよう指示し、クリーンセンターに持ち込まれた場合には受入を拒否します。</p>
130	<p>事務所のごみ排出ルールについては、啓発を先行させながらも、きびしく指導してもらうことが重要です。</p>	<p>計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（１）－⑤「業者収集ごみの透明袋制の導入」、推進項目 2－（１）－⑧「分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、ごみ排出ルールの徹底し分別を推進します。</p>
131	<p>お寺等で弁当を食べた後、どのように市の方は集めるか？捨てる方は分別せずに袋にビンも折り箱も入れている。</p>	<p>お寺の参拝者が排出されるごみは事業ごみに区分され、収集運搬業者が収集します。</p> <p>計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（１）－⑤「業者収集ごみの透明袋制の導入」及び推進項目 2－（１）－⑧「分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、事業ごみの分別、リサイクルを徹底します。</p>
132	<p>小規模事業者が連携して効率的な資源回収を行うことも大切ですが、収集業者が効率的に資源回収を行うことも大切ではありませんか。</p>	<p>計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（１）－⑥「オフィス町内会などの小規模事業者が連携した効率的な資源回収の促進」を盛り込み、小規模事業者の連携による資源回収を促進するとともに、収集業者に対しても効率的な資源回収が行えるよう働きかけていきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
133	計画（案）概要版 p. 12 基本施策 2－（１）「徹底した分別によるリサイクルの推進」において、「家庭ごみに出されている事業者のごみを収集拒否。」といった推進項目を追加すべき。	計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（１）－⑦「業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進」、推進項目 2－（１）－⑧「分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」を盛り込んでおり、この中で、取組を進めていきます。
134	プラスチックなのに「プラ」ゴミではなく、家庭ごみで捨てるのは本当によいかとちゅうちょしてしまうことがあるので、もう少し分別してもいいのではないかと？	現在、京都市が実施しているプラスチック製容器・包装の分別収集は、国の容器包装リサイクル法に基づき「容器」と「包装材」のみを分別収集実施しています。 同じプラスチック素材であっても、法律で対象となっていない容器・包装以外のプラスチックは、「消費者が分別排出」し、「市町村が分別収集（費用を負担）」し、「事業者がリサイクル（費用を負担）」するシステムが構築されておられません。
135	容器包装以外のプラスチック製品の分別については、地方自治体だけの経費負担ではない。メーカー責任も含めた国全体の仕組みを作るように強力に働きかけるべきである。	このため、計画（案）本編 p. 28 において、推進項目 2－（１）－⑩「現行の容器包装リサイクル法の対象外となるプラスチック製品の再生利用に向けた新制度の創設（国への提言）」を盛り込んでおります。
136	容器法対象外のプラ製品の再生利用に向けた新制度の創設については、市のみならず、全都清等も活用してぜひ実現してほしいです。	この中で、新たな分別に向けた国への政策提言を積極的に行っていきます。
137	「容器包装リサイクル法の対象外となるプラスチック製品」というのはどんなものですか。	計画（案）本編 p. 31 において現在のプラスチック類の分別・リサイクルの仕組みを解説する、コラム「容器包装リサイクル法について」を追加し、分かりやすく説明します。
138	「拡大生産者責任をより重視した経費負担の枠組みづくり」の意味が良くわからない	【本編 p. 31 コラム追加】
139	拡大生産者責任の考え方について、京都市として市民の声を背景に、国に対して強く働きかけをしていただくことを強く要望します。	計画（案）本編 p. 28 において推進項目 2－（２）－⑪「拡大生産者責任をより重視した経費負担の枠組みづくり（国への提言）」を盛り込んでおります。 この中で国への政策提言を行います。

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
140	<p>プラマークのついている物があまりにも多く一番やっかいな商品であり、これを何とか減らす事が必要と思います。</p>	<p>計画（案）本編 p.28 において、推進項目 2－（１）－⑩「現行の容器包装リサイクル法の対象外となるプラスチック製品の再生利用に向けた新制度の創設」、推進項目 2－（１）－⑪「拡大生産者責任をより重視した経費負担の枠組みづくり」に盛り込んでおり、この中で、国に提言していきます。</p>
141	<p>国に対して具体的にどのような提言をしていこうと考えているのか、もう少し詳しく教えて欲しい。</p>	<p>具体的には、計画策定後、検討をすすめていきます。</p>
142	<p>基本施策 2－（２）では、学区単位の活動、自治会、町内会、市政協力委員など、具体的な対象者が書かれているにも関わらず、推進項目ではそれらの方がどのような位置付けで、どのように関わり行動するのか不明瞭に思います。</p>	<p>地域特性の例示として、学区単位の活動、自治会、町内会、市政協力委員などを挙げております。こういった地域の強みを活かしながら、地域密着型の取組を推進します。</p>
143	<p>概要版 13 ページ基本施策 2－（２）地域力を活かした地域密着型の取組の推進の項、「多様な資源回収の機会拡大」のところで、常設回収、小型家電回収が何故地域力を活かしたと言えるのか。</p>	<p>常設回収、小型家電回収はその設置場所が必要になります。そこで、設置場所においては、公共施設や民間商業施設だけでなく、地域の実情に合った場所で回収を行うことを検討します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
144	<p>プラでもなく金属でもない、何に分類するか解らないごみは家庭ごみに出しますが、生ごみや紙とは違い、出す事に抵抗がある物もあります。もう少し分別をしてもらって、リサイクルできたらと願います。</p>	<p>計画（案）本編 p. 29 において推進項目 2 - (2) - ①「土・日も開設する「より近い・より便利な」常設の回収場所の設置・拡大」の中で、対象品目の拡大についても検討します。</p>
145	<p>リサイクルできる資源を持っていくステーションを（休日も持っていける）整備すればより減量が進むのではと考えます。</p>	
146	<p>限りある資源をいかに長く大切に使うのかを訴えるべきです。回収拠点を増やし、土、日も開設することは大いに意義があると思います。市の回収拠点に食品トレイの回収ボックスも設置してください。現在、プラごみの中に多く入っています。トレイからトレイのリサイクルに回らないからです。</p>	
147	<p>計画（案）概要版 p. 3「休日にも開いている資源回収場所」大賛成です。ヨーロッパでは昔からあるので、やっと追いついた感じです。拠点の拡大に期待します。</p>	<p>計画（案）本編 p. 29 において推進項目 2 - (2) - ①「土・日も開設する「より近い・より便利な」常設の回収場所の設置・拡大」を盛り込んでおります。</p>
148	<p>市民にとってわかりやすく、身近なところに回収拠点が設置されることが大事である一方、効率性ということにも目を配りながら、実効ある取組がすすめられることを期待します。</p>	
149	<p>スーパーなどにリサイクル用の仕分け箱を置いたらいいと思う。市民も自分で仕分けて持っていくことで意識が高くなるし、ごみも減ると思う。</p>	<p>計画（案）本編 p. 29 において推進項目 2 - (2) - ②「公共施設や民間商業施設における小型家電や携帯電話回収によるレアメタル等のリサイクルの推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、スーパー等の民間商業施設にも協力を求めています。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
150	堆肥化を促進するのであれば、販売している堆肥機の値段をもっと下げて購入しやすい価格にする必要があるのではないのでしょうか？町内ごとに設置するとか・・・。	<p>現在、すでに、家庭ごみの有料指定袋制による財源を活用して、「電動式生ごみ処理機」及び「生ごみコンポスト容器」の購入費用の一部を助成しています。</p> <p>計画（案）本編 p. 29 において、推進項目 2－（２）－⑤「地域からの生ごみ，学校や公園の落ち葉などの堆肥化の促進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、地域単位での堆肥化装置の購入費用の一部を助成していきます。</p>
151	学校や公園の落ち葉の堆肥化は賛成です。街路樹の落ち葉や剪定した枝についても堆肥化や燃料化など進めるべきだと思います。	<p>計画（案）本編 p. 29 において、推進項目 2－（２）－⑤「地域からの生ごみ，学校や公園の落ち葉などの堆肥化の促進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、地域単位での堆肥化装置の購入費用の一部を助成していきます。</p>
152	葉・枝も集めて活用してください。活用が無理なら専用のごみ袋（格安のもの）を売ってもらえるとうれしい。	<p>計画（案）本編 p. 29 において、推進項目 2－（２）－⑤「地域からの生ごみ，学校や公園の落ち葉などの堆肥化の促進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、地域単位での堆肥化を推進していきます。</p>
153	<p>重点戦略 5 「バイオマスの利活用」落ち葉，生ゴミ…ゴミではなく宝だという意識をただちに学校などの教育現場，地域の公園で広めて，実践していくこと，最も効果が早いのではないかと思います。</p> <p>どこかに運ぶエネルギーもかからないし，効率良しだと思います。まさに市長さんのおっしゃる「共汗」です。そのようなことがあれば，ぜひ自ら参加したいです。どうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>計画（案）本編 p. 29 において、推進項目 2－（２）－⑤「地域からの生ごみ，学校や公園の落ち葉などの堆肥化の促進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、地域単位での堆肥化を推進していきます。</p>
154	計画（案）概要版 p. 13 基本施策 2－（３）「学生のまち，観光のまちならではの取組の推進」において、「お祭りや行事（神社等）のごみの減量・分別の取組」といった推進項目を追加すべき。	<p>計画（案）本編 p. 38 において、重点戦略 3 「イベント等のエコ化の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、イベントグリーン要綱を策定し、市が主催するイベントをはじめ、民間のイベントへもエコ化の取組を推進します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
155	<p>また、基本方針2－(3)の推進項目①では、イベントのエコ化で「次代を担う若者を中心とした」人をターゲットにしている文章なのに、ここでは、「入浴客」をターゲットとしており、意味が分かりにくい。</p>	<p>大学のまちとして多くの学生や海外からの留学生が暮らし、国際文化観光都市として多くの観光客が訪れる京都のまちの特性を踏まえたものとして、リサイクルの取組を推進することとしております。</p>
156	<p>観光地やまちなかのごみ箱は、できるだけ減らして、ごみの持ち帰りを習慣づけることはできないものか。</p>	<p>計画(案)本編 p29 において、推進項目2－(3)－②「観光地に設置しているごみ容器への外国語やピクトグラム(絵文字)の標記」を盛り込んでおります。これは、今後、観光地にごみ容器を設置していくのではなく、現在設置されているごみ容器の標記を分かりやすくすることで、ごみの分別・リサイクルを促進しようとするものです。</p>
157	<p>観光地での分別ボックスはいかかなものでしょうか？飲み残し、すすぎ、脱キャップ等できるわけがありません。</p>	
158	<p>イベント等のエコ化の推進について、地域の祭りや学園祭を代表例に挙げているが、まずは、京都を代表するイベントである「祇園祭」から始めるべきではないか。まず、代表的なものから始め、そのような大きな祭りでも行っているという事を全国、または、全市民に知らしめ、地域の祭りなどへ広げていくことが必要です。</p>	<p>計画(案)本編 p. 38 において、重点戦略3「イベント等のエコ化の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、イベントグリーン要綱を策定し、市が主催するイベントをはじめ、民間のイベントへもエコ化の取組を推進します。</p>
159	<p>イベントのエコ化、大賛成です。イベントの主催者がきちんと責任を持って、ごみの分別、廃棄などの処理経費負担するよう徹底してください。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
160	<p>概要版 14 ページのところのバイオマス資源の総合的な利活用計画は、「ごみからのエネルギー回収の最大化」の項にはふさわしくない。少なくとも基本方針 2 の中に入れるべきである。また、バイオガス化施設の社会実証とは何をさすのかわからない。</p>	<p>計画（案）本編 p. 47 「6. 2 ごみ処理の考え方」において、燃やすごみの更なるエネルギー回収する考え方のもと、基本方針 3 に記載しております。</p> <p>なお、計画（案）本編 p. 30 において推進項目 3 - (1) - ②「市内に存在するバイオマス資源（間伐材、剪定枝、下水汚泥など）の総合的な利活用計画の策定とバイオガス化施設の社会実証の検討」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、南部クリーンセンター第 2 工場建替え時における大規模なバイオガス化施設の併設を基本として、生ごみが発生する事業所への中小規模のバイオガス化施設の設置・誘導など、技術開発の動向を踏まえた様々な社会的な実証の可能性を検討していきます。</p>
161	<p>バイオガス化施設など、バイオエネルギーを生み出すことは、今後重要となってくる。また、バイオエネルギーを使用する施設も整備する必要があると考える。</p>	<p>計画（案）本編 p. 30 において基本施策 3 - (1) 「ごみからのエネルギー回収の最大化」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で生ごみ等のバイオマスの活用や焼却熱を利用した高効率なごみ発電により、エネルギー回収の最大化と温室効果ガスの削減を目指します。</p>
162	<p>これからは資源戦争の時代。ごみからエネルギーを生む施策が一番重要。</p>	
163	<p>バイオマスの社会実証が謳われているが、本来重要度の高い衛生処理及び廃熱回収についての技術実証が書かれていない。京都市が誇る、安全・安心、高度な公害処理を維持していくための電力確保、特にごみ減量に伴う発電量の低下は目に見えており、更なる発電技術の向上は必須である。「廃熱発電の更なる高効率化（超高効率発電）と更なるバイオマスエネルギーの活用を目指すバランスの取れた持続可能な基本計画」としていただきたい。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
164	<p>南部クリーンセンター第2工場にバイオガス化施設を併設するとありますが、バイオガス化施設を併設することにより、ごみ量（埋立量）がどれだけ減るのですか。それよりもかかる費用の方が大きいと思いますがどうでしょうか。併設にかかるコストや運営にかかるコストも明記すべきです。</p>	<p>計画（案）本編 p. 52 において南部クリーンセンター第2工場にバイオガス化施設を併設することを記載しております。</p> <p>バイオガス化は、埋立量が直接減少するものではありませんが、燃えにくく、ごみ発電に不向きな生ごみや再資源化が困難な紙類を効率よくエネルギーにするための有効な方法です。</p>
165	<p>バイオガス化により、エネルギー回収を最大化するとありますが、エネルギーを得るためにかかるコストと比較するとどうでしょうか。そのまま、クリーンセンターで焼却してエネルギー回収を行ったほうが、コスト的には安いのではないですか。費用対効果を示すべきだと考えます。</p>	<p>施設整備の計画に当たっては、十分に費用対効果等を検討し、効率的な整備、運営を行っていきます。</p>
166	<p>バイオガス化の取り組みに期待しています。</p>	
167	<p>生ごみのリサイクルのために施設をつくる計画があるとのことですが、役所の財政も苦しいというし、生活に困っている人が多いというのに、本当にこの10年間で作らないといけないのでしょうか。リサイクルが大事なのはわかりますが、それよりも、今は教育とか医療とか商店街への支援とか、生活に直結することにお金を優先してまわしていただかないと困ります。お金の使い方について、ごみのことだけでなく、全体的な目で見ると優先順位をつけてほしいです。</p>	
168	<p>計画（案）概要版 p. 14 推進項目 3 - (1) - ①「南部クリーンセンター第2工場建替え時におけるバイオガス化施設の併設」を見直し、「バイオガス化施設の有効性（焼却によるエネルギー回収との LCA の比較）」の検証。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
169	<p>少量多種の家庭系有害廃棄物については困難ですが、ぜひ京都モデルになるような、回収、処理システムを事業者と連携して進めてください。</p>	<p>計画（案）本編 p. 30 において推進項目 3－（2）－③「蛍光管や在宅医療廃棄物などの家庭から出る有害・危険物の回収」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、有害廃棄物の安心・安全な回収、処理を推進します。</p>
170	<p>最近の街角でのごみは少なくなり喜んでいる。なかでもたばこの吸いがらは大変減りました。</p>	<p>計画（案）本編 p. 30 において推進項目 3－（3）－②「地域住民や警察等の関係機関との連携による不法投棄対策とまちの美化の推進」を盛り込んでおります。</p>
171	<p>不法投棄のペナルティを強化し、地元の意識も高め、ごみは資源の考えに立ち帰り、受け皿も作ろう。</p>	<p>この中で、引き続き、不法投棄対策やまちの美化活動を推進します。</p>
172	<p>不法投棄，ポイ捨て，他人の家所なら捨てても良いのか。たばこや紙くずなど自分の家でも所かまわずすてているのか。</p> <p>観光地京都と言えるのでしょうか。住人の心にごみがたまり心がよごれている。犬やペットのふんにより観光客の方々の足元が汚れて困っておられる。見える所のまち美化でなく，一步外へ出た所，景観，山なみを満喫してもらえるよう。</p>	
173	<p>約 36,000 キロワットの電力は，1 キロワット 24 円として約 86 万円程度の電力量に相当します。86 万円の電力量のためにいくら費やしたのですか。とてもコスト的に見合うとは思えません。いくら実験とはいえ，費用対効果を示すべきだと考えます。</p>	<p>計画（案）本編 p. 48 において、「生ごみ等の今後の方向性について」を盛り込んでおります。</p> <p>今後は，実験を通じて得られたデータ等をもとに，できる限り経費を抑えながら，最大の効果を上げる手法として，バイオガス化とごみ発電（焼却）を併用したトータルでの高効率なエネルギー回収を目指します。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
174	<p>コラム 6 に掲載されている、生ごみ等の分別収集による新たなエネルギー生成モデル実験について、123 トンの生ごみ等を収集し、約 36,000 キロワット時の発電ができたとありますが、電力と電力量を混同しているのではありませんか。約 3,600 の世帯の 1 日の電力量とありますので「時」は不要だと思います。</p>	<p>電力とは、単位時間に電流がする仕事の量のことです。単位はワット(W)、キロワット(kW)などを用います。</p> <p>電力量とは、電力に時間をかけたもので、ここでは、キロワット時(kWh)を用いています。</p> <p>一般的な家庭の一日一世帯当たりの消費電力量は約 10 キロワット時であり、3,600 世帯では約 36,000 キロワット時になります。</p>

「5 基本施策を推進するための5つの重点戦略」に関する御意見

18件 NO. 175~NO. 192

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
175	<p>「発生抑制」からはじまる循環型社会へのビジョン・目標として「半減化」の根拠をもって呼びかけるということです。この目標に向かって有効性のある施策が積み上げられることを要望します。</p>	<p>計画（案）本編 p. 33 において「基本施策を推進するための5つの重点戦略」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、実効性のあるごみ減量の取組を確実に進めていきます。</p>
176	<p>まだまだ、過剰包装されている品物もたくさん売られていて、ごみが出るなあと思います。プラごみの分別ができて特に実感します。</p>	<p>計画（案）本編 p. 34 において「重点戦略1 包装材削減推進京都モデル」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、販売段階だけでなく、流通、</p>
177	<p>この計画案に書かれている重点戦略1の包装材削減が進んでいくことで、よりごみやCO₂が減っていくことを望みます。そのためには、日ごろから、余計なものは、買わないように努めますが、販売する企業やスーパーなどに、包装を極力少なく、小さくするようさらに訴えていく必要があると思います。</p>	<p>生産段階にまで踏み込んで包装材の削減や環境にやさしい商品の開発を促します。</p>
178	<p>お店屋さんや製造者は、いくら環境と言っても、経済的なメリットがないと行動に結びつけようとはしません。環境に配慮しない店では買わない、環境に配慮しない商品は買わない、というように消費者が買い物行動で意思をはっきりと示すことが大切です。包装が少ない製品を作っている商品を京都市が認定するなどにより支援する制度を作ってはいかがですか。</p>	
179	<p>計画（案）概要版 p. 15 重点戦略1「包装材削減推進京都モデル」について、生産（工場）から市民（消費者）への一方の流れになっているが、反対方向の流れの構築が必要である。</p>	<p>生産から消費者の流れとなっておりますが、取組は双方向から進めていきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
180	計画(案)概要版 p.16 重点戦略2「事業ごみの減量対策」についての説明文で、「事業活動から排出される「事業ごみ」は、家庭ごみに比べると、更なる減量の余地があります。」とあるが、もっと強く表現すべき。	計画(案)本編 p.36 において、当該説明文の上のところに重点戦略2の副見出しで「徹底した事業ごみの減量に向けて」を記載させていただいております。
181	もっと減少すべき事業系のごみが減らないことの原因をもっと深く分析し、きめこまやかな施策に取り組む必要があるのではないかと。	各推進項目に基づき、各施策を具体的に進めていきます。
182	大規模小売店舗や多量排出事業者だけでなく、全ての事業者にごみ減量、分別を協力を訴えかけるメッセージが必要である。	<p>計画(案)本編 p.27 において基本施策1-2「事業所などから出るごみを減らす」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、推進項目1-(2)-③「業者収集ごみの透明袋制の導入」や、推進項目1-(2)-④「分別排出義務の明確化と収集運搬業者と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」など、大規模事業所、多量排出事業所のみならず、全ての事業者に対する徹底的なごみ減量、リサイクルの取組を進めていきます。</p> <p>また、ごみ減量や分別の情報をわかりやすく提供するために、推進項目1-(3)-④「業種別のきめ細かい取組方法などの事業者向けの情報提供の推進」を盛り込んでおります。</p>
183	概要版16ページの重点戦略3の一つ目の○「入洛客が訪れます。」とありますが、言葉が重複しているのでは。「入洛客があります。」「観光客が入洛します。」では。	<p>以下のように文言を修正します。</p> <p>【本編 p.38 修正】</p> <p><修正前> <u>「入洛客が訪れます。」</u></p> <p>↓</p> <p><修正後> <u>「観光客が訪れます。」</u></p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
184	<p>概要版 16 ページのイベントグリーン要綱のところ、最初から徹底的な資源化を義務づけるというのは行き過ぎではないか。</p>	<p>計画（案）本編 p.38 において、重点戦略 3 「イベント等のエコ化の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、イベントグリーン要綱を策定し、市が主催するイベントをはじめ、民間のイベントへもエコ化の取組を推進します。なお、実施スケジュールに当たっては、計画策定後に作成する行動計画に盛り込むこととしております。</p> <p>以下のように文言を修正します 【本編 p.38 修正】</p> <p><u>＜修正前＞「義務付ける」</u> ↓ <u>＜修正後＞「進める」</u></p>
185	<p>計画（案）概要版 p.16 重点戦略 3 「イベント等のエコ化の推進」について、イベントグリーン要綱の対象には、伝統行事（天神さんなど）、祭り（祇園祭など）も含めるべき。</p>	<p>基本的には、市主催のイベントからはじめ、民間のイベント等へ拡大していきますが、取組を進める中で御意見を参考にさせていただきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
186	<p>今回、資源回収場所が設置されるということを知り、期待する半面、タダで引き取るのではなく、いくらかでも処理費用を設定した方がよいと思います。管理はどうなるのでしょうか。何でもかんでも持ち込まれ、ごみ捨て場にならないようにしていただきたいと思います。</p>	<p>計画（案）本編 p. 40 において、重点戦略 4「多様な資源ごみの回収の仕組みづくり」を盛り込んでおります。</p> <p>処理費用の設定や具体的な運用方法、回収品目等については今後、検討してまいります。ご指摘の点を踏まえ、資源ごみ以外のごみの混入を防ぐよう十分な管理を行ってまいります。</p>
187	<p>新聞や雑誌、紙製容器包装を重点戦略 4 の多様な資源ごみの回収の仕組みづくりで回収する品目に入れられないか。民間のちり紙交換に出せない住民に対しての受け皿にするべき。</p>	
188	<p>回収拠点での廃棄状況を見るとモラルが守られていないことが多々あります。大量の油であったり業務用の蛍光管であったり、事業者が廃棄していると思えない状況が見受けられますので、モラルある行動を指導する方がよいと思います。</p>	
189	<p>計画（案）概要版 p. 17 重点戦略 4「多様な資源ごみの回収の仕組みづくり」について、民間による回収システムの仕組みづくりもすべき。</p>	<p>計画（案）本編 p. 28 推進項目 2－（2）－①「拡大生産者責任をより重視した経費負担の枠組みづくり（国への提言）」の中で、民間による回収システムの仕組みづくりを推進していきますが、それと合わせて、本市では、計画（案）本編 p. 40 重点戦略 4「多様な資源ごみの回収の仕組みづくり」でも、資源化できる品目について回収を検討していきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
190	この冊子の中の中山間地域とはどこ のどんな所ですか。注釈を書いてもら わないと？でした。	<p>中山間地域とは、農林統計の地域区分の 一つであり、平野の周辺部から山地に至る 平坦な耕地の少ない地域のことで、範 囲に明確な定義はありません。</p> <p>以下のように文言を修正します。 【本編 p. 42 修正】</p> <p><修正前> 「中山間地域」 ↓ <修正後> 「周辺地域」</p>
191	計画(案)概要版 p. 17 重点戦略5「バ イオマスの利活用」について、バイオ ガスによるエネルギー回収と焼却によ るエネルギー回収のコストパフォー マンスを十分検討し情報開示のうえ方 向を定めるべき。	<p>計画(案)本編 p. 30 において推進項目 3 －(1)－①「南部クリーンセンター第 2 工場建替え時におけるバイオガス化施設の 併設」を盛り込んでおります。</p> <p>バイオガス化は、埋立量が直接減少する ものではありませんが、燃えにくく、ごみ 発電に不向きな生ごみや再資源化が困難な 紙類を効率よくエネルギーにするための有 効な方法です。</p> <p>施設整備の計画に当たっては、十分に費 用対効果等を検討し、効率的な整備、運営 を行っていきます。</p>
192	概要版 p. 17 バイオマスの利活用で、 間伐材の利用は林業行政の所管と思 い、物足りなさを感じていましたが、 環境行政が主導的な立場を取られて、 間伐材を「資源」ととらえて積極的に 取り組まれることに大賛成です。期待 しています。	<p>計画(案)本編 p. 30 推進項目 3－(2) －②「市内に存在するバイオマス資源(間 伐材、剪定枝、下水汚泥などの総合的な利 活用計画の策定とバイオガス化施設の社会 実証の検討」の中で、間伐材について利活 用を推進します。</p>

「6 ごみ処理の基本的な考え方」に関する御意見

5件 NO. 193～NO. 197

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
193	計画（案）概要版 p.18「6 ごみ処理の考え方」（2）事業ごみについての説明文で、「～、比較的小規模な事業者では、まだ改善の余地があり、～」となっているが、ほとんど取組がなされていないのもっと強く表現すべき。	多量搬入事業者に対する指導等については、必ずしも搬入事業者が排出量を多くしているわけではないため、計画（案）本編 p.27 推進項目1－（2）－②「チェーンストア等大量にごみを排出する事業所への減量指導範囲の拡大」の中で、多量にごみを排出する事業所に対して、徹底的なごみ減量、リサイクルの取組を進めていきます。
194	計画（案）概要版 p.18「6 ごみ処理の考え方」（2）事業ごみ②持込ごみについて、多量搬入事業者に対する指導、勧告、受入拒否を明記すべき。	
195	節約を旨とする「省エネ」の時代から、自分たちの必要なエネルギーは自分たちで作るという地域を単位とした「創エネ」社会を展望した施策を打つべきである。その際、「民の力」を活用し、「蓄エネ」を取り入れ、3つの視点でエネルギーと向き合うこと。	計画（案）本編 p.48「6.2 ごみ処理の考え方」の中で、ごみの焼却による発電とバイオガス化による発電をすることで、エネルギー回収の最大化を進めていきます。
196	一般家庭ごみの回収で、市の清掃車に投入している風景をみると、瓶、缶、プラスチックが回収時に混ざっている。なぜ回収時点で、品目ごとの回収としないのか。分別する意味があるのか非常に疑問です。	計画（案）本編 p.50において「コラム7 資源ごみのリサイクルについて」にて分別収集後の処理状況を記載しています。 缶・びん・ペットボトルは一緒に収集していますが、その後リサイクルセンターにて機械選別、人の手による選別を経てアルミ缶、スチール缶、無色びん、茶色びん、その他の色のびん、ペットボトルの6種類に分別し、リサイクルしています。
197	プラ、燃えるごみ、空き缶など分別していますが、ちゃんとリサイクルされているのかなと疑問に思っています。	

「7 施設整備計画」に関する御意見

10件 NO. 198~NO. 207

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
198	<p>施設整備計画という問題は、市民にとってはなかなか見えにくい問題ですが、「ごみが半減したらごみ処理施設はどうなるのか」という視点から、わかりやすく、また正確に市民に伝えていただくことを希望します。</p>	<p>計画(案)本編 p.51 において、「7 施設整備計画」を記載しております。</p> <p>この中で、2020年までに本市のごみの受入量を2000年のピーク時からの半減を目指し、更なるごみ減量、リサイクルを進めることにより、クリーンセンターを1つ(建替え整備に400億円以上の経費)減らすことを掲げています。</p>
199	<p>クリーンセンターも一つ減らす計画ですばらしいことです。しかし地下鉄は赤字で大変です。だったら、クリーンセンターのあとに大学を呼んではどうでしょうか。人も増え、増収にもなると思います。</p>	<p>計画(案)本編 p.52 において、「7.1 クリーンセンター等の整備」を記載しております。</p> <p>クリーンセンター休止後の跡地の利用に関しましては、建て替えも含め、今後、全市的な観点から検討してまいります。</p>
200	<p>東部クリーンセンターの跡地の利用は決まっているのですか？地下鉄の駅も近いので集客施設になれば良いと思っています。</p>	
201	<p>東部ごみ焼却場に付属する温水プール及老人保養センターと図書館について毎日のように利用させていただき、地区の皆様との交流の場所にもなっています。そういった施設については継続を考慮していただきたい。</p>	<p>計画(案)本編 p.52 において、「7.1 クリーンセンター等の整備」を記載しております。</p> <p>東部クリーンセンター休止後の跡地の利用と合わせて、付属する温水プール及老人保養センターと図書館の存続について、今後、全市的な観点から検討してまいります。</p>
202	<p>東部クリーンセンター休止後の保養センターについて、保養センターは我々高齢者には必要不可欠なものです。必ず存続してください。(32名連名)</p>	
203	<p>東部クリーンセンターが休止した時にごみ収集時間は変わるのでしょうか？</p>	<p>今後のまち美化事務所の再編と合わせて、検討してまいります。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
204	<p>計画に記載されている各施策がごみの減量に具体的にどう結びつくのかわかりません。そのため、クリーンセンターを一つ減らすことに不安が残ります。</p>	<p>計画（案）本編 p. 33 において「基本施策を推進するための 5 つの重点戦略」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、規制的な手法なども検討することにより、実効性のあるごみ減量の取組を確実に進めていきます。</p>
205	<p>灰溶融施設を稼働せず、ごみの減量だけの場合の埋立期間の残存年数を記載すべきです。また、その間の灰溶融施設の修繕費用、運転費用等についても計画に記載し、500 億円の費用をかけた貴重な財産を伸ばしていくということを、記載すべきです。</p>	<p>計画（案）本編 p. 51 において「7 施設整備計画」を記載しております。この中で、ごみ減量と焼却灰溶融施設の稼働により、埋立処分地の長期使用を目指します。</p> <p>仮に、焼却灰溶融施設を稼働しない場合、埋立期間の残余年数は概ね 50 年程度と考えられます。</p>
206	<p>概要版 p. 4 の埋立処分地の長寿命化、そのための焼却灰等の減量、資源化に賛成です。このメリットを CO2 の削減効果として算出して見える形でもっとアピールしてほしい。</p>	<p>更なるごみ減量の取組と焼却灰溶融施設の稼働により、焼却灰を有効利用することで、埋立処分地をあと 70 年以上使用可能にします。</p> <p>埋立処分地の長寿命化が直ちに温室効果ガス排出量の削減に繋がるわけではありませんが、廃棄物処理全体での削減を目指します。</p>
207	<p>計画（案）概要版 p. 19 「7 施設整備計画」について、バイオガス化施設の併設の断定は時期尚早ではないか。</p>	<p>前計画において、廃棄物管理システムの LCA による検討を実施しており、環境負荷の観点では、バイオガス化施設の併設が優れているとの結果を得ています。</p> <p>施設整備の計画に当たっては、十分に費用対効果等を検討し、効率的な整備、運営を行っていきます。</p>

「8 計画の推進」に関する御意見

21件 NO. 208～NO. 228

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
208	<p>計画（案）概要版 p.20 「8 計画の推進」（1）オール京都の連携の説明文で、「～、京都で暮らす、京都で働く～」となっているが、「京都で商う」といった文言を追加。</p>	<p>「京都で商う」といった文言は、「京都で働く」の内容に含んでいます。</p>
209	<p>分かりやすい内容になっており、あとはみんなでいかにしてごみを減らすかが大事である。</p>	<p>計画（案）本編 p.56 において、「8.1 オール京都の連携」を盛り込んでおりますとおり、市民、事業者、行政はもとより京都のまちで活躍する関連団体、学生や観光客とも連携を深め、京都に集う一人ひとりの皆さんと連携を深め、オール京都の取組を展開し、ごみ半減を目指していきます。</p>
210	<p>ごみ半減のために、市民や事業者の取組みの輪が広がればよいと思います。</p>	
211	<p>50年後、100年後にも「環境のまち」として、京都が京都であるために、市民・事業者・京都市がスクラムを組んで、ごみ量を減らす等に取り組むことは、大変有意義かつ大切なことであり、このプラン（基本計画）に大いに賛同します。</p>	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
212	全体によく考えられているので一日も早く実行していただきたい。	<p>本計画策定後，5年間の実施スケジュールを盛り込んだ行動計画を早期に作成し，実行に移していきます。</p>
213	アクションプランとは何なのでしょうか？またそれはどの様に作成されるのでしょうか？	
214	この計画の取組み項目はいつから始まるのかがよくわからない	
215	次年度，すぐに行動計画の策定に取りかかるか，あるいは実際の行動に移す「推進項目」を5～10程度，リーディングプロジェクトとして明確にするべきであると思います。	
216	「推進項目」ごとに取りかかる時期や時間スパン，他の「推進項目」との関係など，条件が様々違うはずですが。個々の「推進項目」の詳細は次年度明らかにするとしても，41の「推進項目」のうち，早期着手するもの，数年先に着手するもの，「推進項目」間の関係など，現時点で考えられるものを明らかにしておくべきです。	
217	<p>計画の実行・実現には市内外の多くの団体や主体等との協働が必要です。実際の行動計画の策定が行政だけでなされることのないよう強く求めるとともに，下記の一文を加筆されることを提案します。『行動計画の策定にあたっては，関係する団体等と協力して進めるものとする』</p>	<p>計画（案）本編 p.57 において，「計画の進ちよく管理方法」「（1）行動計画（アクションプラン）の策定」では，本計画策定後，5年間の実施スケジュールを盛り込んだ行動計画を策定することとしております。</p> <p>行動計画の策定に当たっては，今回いただいた多くの意見を踏まえ，京都市が責任もって行動計画を策定する予定です。なお，施策等の実施においては，市民や事業者はもとより，京都のまちで活躍する関連団体，学生や観光客とも連携を深め，オール京都の取組を展開していきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
218	イベント等のエコ化の推進の内容で国内外に発信するのではなく、この計画そのものを広く発信するべきでは。	<p>計画（案）本編 p57 において「8.2 計画の進ちよく管理方法」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、市の広報やホームページなど様々な手法で幅広く発信し、情報の見える化を推進します。</p>
219	お金をかけてごみを減らすことも大切ですが、いくらかけてもいいというわけにはなりません。費用対効果も考えるべきです。色々と目標数値を揚げておられますが、その取り組みにかかる費用を指標におくべきだと考えます。	<p>計画（案）本編 p. 57 において「計画の進ちよく管理方法」では、「情報の見える化」の推進を図っていくこととしております。</p> <p>この中で、ごみ処理コストなどを分かりやすく公表していきます。</p>
220	この計画を進めるためには、どのくらいの費用が必要となるのでしょうか。概要を読む限りでは、費用に関することが全く読み取れません。バイオガス施設を作ったり、堆肥化による地産地消のモデル地域を作ったりするには、相応の税金が投入されることになると思います。	
221	結果としての数値目標も大事ですが、環境モデル都市の住民・企業として当事者意識、参加意識がとても重要だと思えます。そのための環境問題に関する行動参加の状況や参加満足度の把握をされてはどうでしょうか。	<p>計画（案）本編 p. 57 において「計画の進ちよく管理方法」では、行動計画を作成し、その中で、わかりやすい指標を設定することとしております。</p> <p>これらの進ちよく状況の把握に当たっては、アンケート調査などで、市民、事業者の環境問題に関する行動や意識の把握に努めていきます。</p>
222	計画が達成できたかどうかは何を基準に判断されるのですか。また、私たちはそれをどうやって知ることができるのですか。	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
223	<p>推進組織をつくるのかどうか、既存の「京都市ごみ減量推進会議」との関係はどうか、こういった疑問とともに、進行管理と評価をどこがするのか明記がないことで、これまでありがちだった行政担当課内での「自己評価」が、今後も続きかねないとの強い懸念を持ちます。推進組織や進行管理、評価主体について、今からでも明記されることを求めます。</p>	<p>計画（案）本編 p. 57 において「計画の進ちょく管理方法」「（４）進ちょくのチェック体制を確立」を盛り込んでおり、その中で、継続的に計画の点検、見直しを行うPDCAサイクルを確立することとしております。</p> <p>なお、進ちょく状況等の評価に当たっては、市民、事業者、学識者等で構成される京都市廃棄物減量等推進審議会で実施していただく予定としています。</p>
224	<p>私たちの取り組みが評価できる仕組み作り、インセンティブが目に見えるような取り組みが不可欠。成果として出てきた予算（税金）の具体的な使用方法、有料袋のように、規制やお願いや押しつけだけでなく納得のいく方法を提示すべき。</p>	<p>計画（案）本編 p. 57 において「8. 2 計画進ちょくの管理方法」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で、個々の推進項目に分かりやすい指標を設定するなど、計画の進ちょく状況の把握を行います。</p> <p>また、「情報の見える化」を推進し、計画の進ちょく状況やごみ処理コストなどの情報を正確に分かりやすく、誰もが入手しやすい方法で公表していきます。</p>
225	<p>少しずつでも前進していることは、みんなの努力の成果なので引き続き分からない方への分かりやすい説明に力を入れていって下さい。</p>	
226	<p>ごみの減量の取り組みをマスコミを利用して大々的に市民の方に周知していくことが一番大事だと思います。</p>	
227	<p>情報の見える化に関して、この計画を実行することにより、ごみがどれだけ減ったのかがわかるように直接市民に訴えかければ、市民はもっと取り組むと思う。方法としては、町内会などの地域の集まりにおける状況説明やこうすればもっと減らすことができるなど情報も併せて伝えていただきたい。</p>	<p>計画（案）本編 p. 27 において推進項目 1－（３）－②「地域ごとのごみの排出状況等の地域特性に応じた指導・啓発の推進」を盛り込んでおります。</p> <p>また、あわせて p. 57 において、分別状況、ごみ処理コストなど、「情報の見える化」を推進していきます。</p>

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
228	<p>ごみ事業の経営効率をいかに改善していくのかという視点からの検討や提案がされていません。</p>	<p>本計画においては、2020年までに本市のごみの受入量を2000年のピーク時からの半減を目指し、更なるごみ減量、リサイクルを進めることにより、クリーンセンターを1つ(建替え整備に400億円以上の経費)減らし、埋立処分地もあと70年以上使用することができます。</p> <p>また、今後、ごみ処理コストなど「情報の見える化」を推進していきます。</p>

その他の御意見

35件 NO. 229~NO. 263

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
229	ごみ分別有料化にともない，なったその時はごみを減らす努力をしていましたが，何年か経ち，ごみは出るからしかたないと思い，最近のごみが増えてきたような気がします。	<p>計画（案）本編 p. 26 において推進項目 1 - (1) - ④「家庭から出るごみの更なる削減に向けた有料指定袋の最大容量 45 リットル袋の廃止の検討」を盛り込んでおります。</p> <p>この中で，より小さい袋でも収まるよう，意識して減量化していただけるような環境づくりを目指します。</p>
230	黄色いごみ袋をもう少し安くしてほしい。	<p>平成 18 年 10 月に家庭ごみの有料指定袋制を導入し，現在は 20 パーセントの家庭ごみ量が減少しております。現在の有料指定袋の値段は，審議会の答申に基づき，ごみ減量効果と市民の負担などを考慮し設定しており，ごみを減量することでごみ処理に要する費用を減らすことが可能になります。</p>
231	缶などを入れる袋（透明の）値段を下げてください。	
232	ごみ袋代が高いことは私の頭の中から消えないので何とかして欲しい。	
233	ごみを減らすのなら，もっと袋代を高くすればよい。もっとみんな減らすと思う。実際，家で工夫してやればそんなにごみは出ていない。	
234	宇治市に比べて，京都市は出し方が大変なように思います。ごみを減らすことは大切ですが，ごみの引き取り料金が少し高いように思います。	
235	大型ごみを玄関まで取りに来てほしい。1 個 1 個 (400 円～) にお金があるので大きくないごみでも 3, 4 個出したら 1, 200 円～2, 000 円かかるのがとても高いと思います。	<p>大型ごみについては，受益者負担や破碎処理に要する経費の負担という観点に加え，家電製品が有料で引き取られている実態からみて，処理料金を徴収することが望ましいと考えております。</p>
236	大型ごみの料金をもう少し安くしていただけたらと思います。	<p>料金の設定には，収集運搬や処理に要する費用をもとに算出しており，適正な額と考えております。</p>
237	大型ごみ（自転車などインチによってちがう）の有料は良いが，Tel にて問い合わせ時にわかりにくいので一律にしてほしい（ジュウタンも）	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
238	クリーンセンター内は広くてスペースもいっぱいあるので、職員判断で回収商品を販売し、その金額を今後の計画に使えばいいのではないのでしょうか？	御意見にあるようなまだ使えそうな大型ごみについては、見た目で大丈夫でも実際には目に見えない部分で支障がある等、市での確に正常な品であると判断及び保障することが困難であるため、不要なものについてはフリーマーケットなどでリユースするように啓発を推進します。
239	使える粗大ごみはリサイクルセンターで売ったらどうですか。	
240	放置自転車をリユースして再利用したほうがいい。スクラップにされてごみが増えることになってしまう。	
241	衣服の処理に困っていますので、何かリサイクル等の新しい形をしていてほしいです。	御意見にあるような衣服について、不要なものについては、フリーマーケットなどでリユースするように啓発を推進します。 また、使い古したものについては、計画（案）本編 p.28 において、推進項目 2-（1）-①「使用済みてんぷら油などの回収拠点拡大やコミュニティ回収の品目拡大など既存の資源回収の更なる充実」の中でリサイクルを推進します。
242	いらなくなった物（大人の服など）で、まだ使える物を引き取ってくれる場所（平日、休日の朝～夕方まであいている）があれば良いと思います。	
243	フリーマーケットや、安値で物をやりとりできる場所をもっと手近にもうければ、ごみも減るし、売る人、買う人にとってもプラスになるのでいいのではと思います。	フリーマーケットの開催については、すでに市役所前フリーマーケットや各区のふれあいまつり等を実施しており、引き続きリユース（再利用）の取組を進めていきます。
244	リサイクルショップをもう少しクローズアップさせるようにできたら良いと思います。	
245	リサイクルできる場所や機会（子供の洋服や家具など）を増やして欲しい。ネットや掲示板などでも、交換できる場を提供して欲しい。	

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
246	計画倒れに終わらないよう、官民一体となり努力して行きましょう。	計画の進捗状況等を積極的に「見える化」を推進することにより、情報を市民や事業者と共有し、計画（案）p.10「私たちが目指すまちの姿」で掲げているように、市民、事業者、行政が一体となって連携することで、「世界をリードする環境モデル都市・京都」の実現を目指していきます。
247	私たちがごみを出す基本ルールを守りながら、ごみを少しでも減らしたい。	
248	個人一人一人がゴミを出さない努力が必要だと思う。	
249	ひとりひとりが少しずつ意識をもって、ごみ減量、CO2削減に取り組んでいきたいと思います。	
250	職員も市民として家庭での実践や取組成果を地域に手本としてアピールし、住民の中心になるよう工夫することが大切だと思う。	職員も市民の一員としてお手本になるよう、率先して全力で取り組んでいきます。
251	ごみを持ち込まない工夫、それに関して行政の手助けがない、成果達成のための仕事にしか見えない。	計画（案）本編 p.27 の「基本施策1－（2）事業所などから出るごみを減らす」「推進項目④分別排出義務の明確化と収集運搬業者へのペナルティを含む指導の徹底」の中で、収集運搬業者への指導を徹底します。
252	環境教育を学べるエコロジーセンターをもっと充実すべきと思います。市役所はお金がないのなら、今からセンターを整備する費用をためておくことも必要と思います。	エコロジーセンターは環境教育の重要な拠点であることから、今後、御意見を参考とさせていただきます。
253	ごみ有料化にともなう財源の活用に関わっては、市民に対して十分な説明ができていないように思います。また、その活用についてもオープンに議論されるべきだと思います。	有料化財源の用途については、今後、市民や学識経験者の意見を聞きながら点検していくことを考えており、幅広く検討してまいります。
254	これが京都の環境政策だという新鮮さ目を引く内容は見当たらなかった。過去の施策の統括も併せて必要です。	本計画（案）では、ごみの減量目標に加え、今回初めて低炭素社会の構築に向け温室効果ガスの排出量等を盛り込んでおります。 なお、計画（案）本編 p.3 から p.4 において、ごみ量等のこれまでの取組の成果を参考として記載しております。

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
255	高齢者家庭とそれ以外の家庭とごみ収集方法を変えてほしい。例えば高齢者家庭にはわかりやすく2種類くらいに分別するだけで、戸口に出すだけで済むようにしてほしい。	介護保険サービス等を利用している65歳以上の高齢者や身体障害者の家庭を対象に、玄関先に出されたごみを直接収集する「まごころ収集」を行っております。
256	枝豆の皮、刺身のつま、ゴルフ場のわらなど、それらの改良方法を考えることに力を投じたらどうでしょう。	現時点ではご指摘の品目について、特段の利用等は考えておりませんが、今後、新たな再利用の手法の研究の動きについては情報の確保に努めてまいります。
257	ゴミ分別をして週に4回出しています。私の住む上賀茂では、家庭ゴミ収集が午後になります。自動車がゴミ袋をひっかけたり、カラスがつつく事もあり夏など臭いや蚊等で困っています。せめて午前中に集めてください。	限られた人員と収集車両を効率よく運用し、収集作業を行っておりますので、やむを得ず収集が午後になる場合もあります。 いただいた御意見を踏まえ、今後ともより一層効率的な収集作業に努めてまいります。
258	京都市内を歩いているとゴミ箱が少ないです。特に観光地には少ない。	街頭ゴミ容器については、観光地や行楽地、繁華街、幹線道路、ターミナル等、条例で定めた美化推進強化区域を中心に約700基設置しております。
259	ドイツのように街中に分別ゴミ箱の設置をしてはどうかと思います。	しかし、街頭ゴミ容器を設置することにより、多量のごみが捨てられたり、ごみが散乱するなど、周辺環境の悪化を招く場合もあるため、周辺住民の理解が得られた場合のみ設置することとしております。
260	イラストが多く、見やすくていいのですが、イラストに統一感が全く感じられない。 High Moon氏のごみまんがをせっかく使っているのだから、各ページのイラストも、High Moon氏のものにするか、もっと似ているものにした方がすっきりする と思います。	本計画（案）では、できるだけ多くの市民の皆様に見ていただけるように、イラスト等を多用しております。 また、全編を通じて読まれない方でも各章の表紙だけで計画（案）の概要が伝わるように構成しております。
261	早急にすべての黄看板の修理をお願いしたいと思います。	お近くのまち美化事務所に御連絡いただければ、修理いたします。

意見 番号	御意見	本市の基本的な考え方
262	京都市は、「京」と書いて、「みやこ」と読ませているのではないの？「京」は、そのまま「きょう」と読ませるように変更したのですか。	「京」と書いて「みやこ」と読む場合もありますし、「きょう」と読む場合もあります。どちらで読むかを分かりやすいようふりがな（ルビ）を記載します。
263	温室効果ガス削減と新規性という観点から「食料と競合しない条件でのバイオプラスチックの推進」を図ってはどうか。	バイオプラスチックについては技術的にも発展途上であり、今後の動向を注視していきます。